



 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER

CORPORATE PROFILE

For Safety and Comfort をキーワードに、
安全なフライトと快適な空の旅を提供するために起業したJAMCOは、
航空機業界をサポートするための独自の思想と技術を積み重ね、
世界各国のお客様から絶大な評価と信頼を得てきました。
「技術と品質を翼に、快適で持続可能な未来へ」。
JAMCO は、これからも進化を続けます。

For Safety and Comfort

I N D E X

- | | | | |
|------------------------|---|--------------------------------------|------------------------------|
| 04 Galley
ギャレー | 10 Total Interior Integration
トータル・インテリア・インテグレーション | 16 Aircraft Maintenance
機体整備 | 22 JAMCO's Profile
会社概要 |
| 06 Lavatory
ラバトリー | 12 Aircraft Equipment
特殊工程技术関連製品 | 18 Accessories Maintenance
部品整備 | 24 JAMCO Group
所在地一覧 |
| 08 Seat
シート | 14 ADP (ADvanced Pultrusion)
ADP | 20 JAMCO's Network
国内外の関連会社 | 26 JAMCO's History
歴史 |

その旅の快適のために。
その安らぎのために。

ギャレー

Galley

航空機用ギャレー（厨房設備）には、機内の限られたスペースでキャビン・クルーが最も効率よく使いこなせるデザイン、機能、耐久性が求められるのはもちろん、航空機部品の絶対条件である「軽量」「難燃」という厳しいテーマが課せられています。JAMCO は 50 年以上にわたり、こうした厳しい条件が課せられるギャレーの製造を得意分野としてきました。

長年にわたり培ってきた「軽量化技術」、3 次元 CAD をはじめとする設計・生産システム、徹底的に効率化を追求する生産ライン、そしてカスタマー・サポート。自ら培った技術力、IT、先進性を時代、時代で融合し、常に顧客満足、高品質、短納期、低コストを追求し、進歩し続けています。

世界で生産されるギャレーのおよそ 40% は JAMCO 製（中大型機：当社調べ）。国内外 100 社余りへの納入実績を誇り、各エアラインから絶大な評価を受けています。また、最新技術が駆使されたボーイング 787 型機に搭載されるギャレーは全て JAMCO 製です。



787 ギャレー※



A350 ギャレー
写真提供：エアバス



777 ギャレー



777 バーカウンター



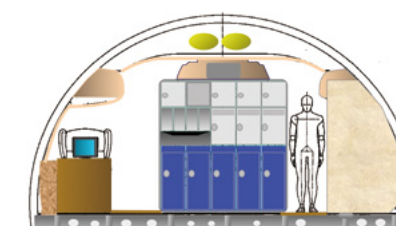
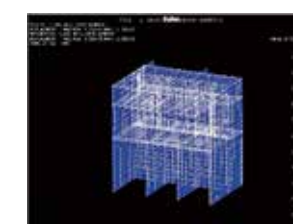
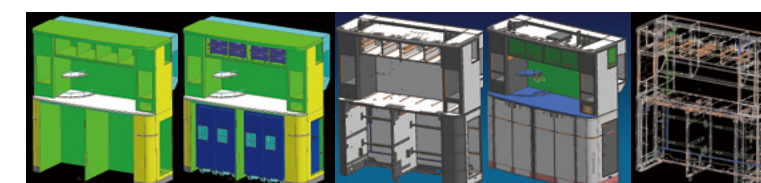
A380 バーカウンター



787 バーカウンター

※ギャレー / 高級レストランの味を機内で乗客に提供するために、調理したての味を保ち、素早くサービスできるように作られています。

軽量化技術でお客様の希望を叶えます。



ギャレー

エアラインが独自に工夫する客室サービスの特別な要望に対して、イノベティブなアイデアを提案してまいります。

ほっと、くつろげる空間を
提供します。

ラバトリー

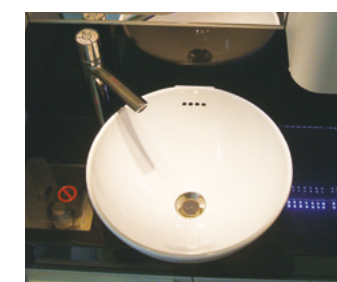
Lavatory

お客様にとって機内で唯一のプライベートルームとも言えるラバトリー（化粧室）。10 数時間にも及ぶフライトでは、化粧室で過ごす時間も大切な旅のアクセント。限られた空間のなかでいかに快適で、くつろげる空間を演出するか、質感、機能に徹底的にこだわる一方で、「軽量」という絶対条件に対してはコア・コンピタンスである「軽量化技術」を駆使し、これを具現化してきました。また、航空機に最も重要である安全への配慮は言うまでもありません。

JAMCO のラバトリーの世界シェアはおおよそ 50%（中大型機：当社調べ）。787 型機をはじめ、ボーイング社のワイドボディ機に搭載されるラバトリーは全て JAMCO 製です。また、777、787 型機には航空機では初となるビデ・システムの搭載を実現し、独占供給しております。これは品質、納期、コストへのニーズに的確に応えるだけでなく、「安全で快適」を JAMCO が提案し続けるからなのです。



ファーストクラス、787 などに搭載されたラバトリー



美しく快適なプライベート空間を追求しています。

ラバトリー

機内という限られた空間の中で、あくまでも快適で機能的に満足のいく信頼のおける製品を。それが化粧室のデザインを決定します。





シート

Seat

独自の配置によりお客様のスペースを十分に確保し、快適性と機能性に優れた画期的なデザインを追求したプレミアム・クラス・シート。

シートに要求される動荷重試験など厳しい評価試験で基準を満たし安全性を確保し、また、エアラインにおけるメンテナンス性も重要なキーワードと捉え、そのニーズに応じてまいります。

お客様が機内で過ごす時間が一番多いこの空間を、JAMCO がこれまでギャレーやラバトリーで培った経験やノウハウを活かし創造してまいります。

空の上の極上な空間で
楽しい夢の時間を満喫していただきたい。

Venture

通路への直接アクセス、快適なフルフラットベッド、十分な収納スペース、最新のアメニティとエンターテインメント機能を提供します。

- ・機能的で洗練されたデザイン
- ・全席通路から直接出入りできる快適性
- ・衝撃を吸収するバックシェル（特許取得済み）
- ・部品点数の大幅な削減による整備性の向上
- ・軽量化と部品削減によるサステナビリティの実現



Produced by Jamco

Quest for Elegance

傾斜を調整できるチルトモニターを採用し、乗客の膝まわりにゆとりある空間を作り出しました。操作しやすい仕切りも配置、ワンクラス上の上質なフライト体験をお約束します。

- ・どのような姿勢でも見やすいチルトモニターを採用
- ・乗客の膝まわりに広い空間を実現
- ・ワンクラス上の快適性
- ・オペレーターのニーズに合わせてシート配列を変更可能



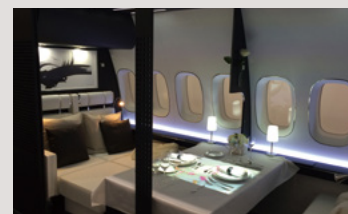


満足していただける快適空間づくり。
そのデザインから具現化まで…。

JAMCO
TII

トータル・インテリア・インテグレーション

Total Interior Integration

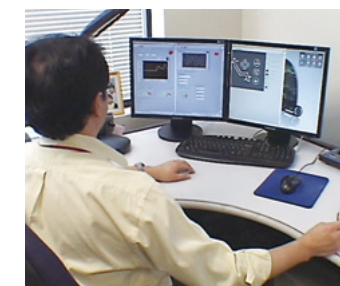


写真提供：シンガポール航空

世界の航空機需要はこれからも確実に伸びていくことが予想されています。その一方で、世界のエアラインの競争は益々激化し、あらゆるコストの削減と他社とのサービスの差別化を推し進めています。航空機の客室のデザインやアレンジは、エアライン各社のサービスの内容によって大きく異なってきますが、JAMCOは世界中のエアラインのこうしたニーズを的確に捉え、航空機の客室の改造分野にも力を注いできました。

ギャレー、ラバトリーなどの長年にわたるものづくりで培った技術力に加え、デザインの提案から認証取得まで、全てを提供できる体制を誇る JAMCO だからこそトータルに航空機の内装品をプロデュースすることが可能になります。また、グローバルに展開するグループネットワークにおいて、米国シアトルにある JAMCO AMERICA は、世界で初めて航空機内装品の分野で FAA（米国連邦航空局）より認証を代行する権限を委譲されました。これにより改造に必要な工期を短縮することが可能となり、エアラインからは高く評価されています。

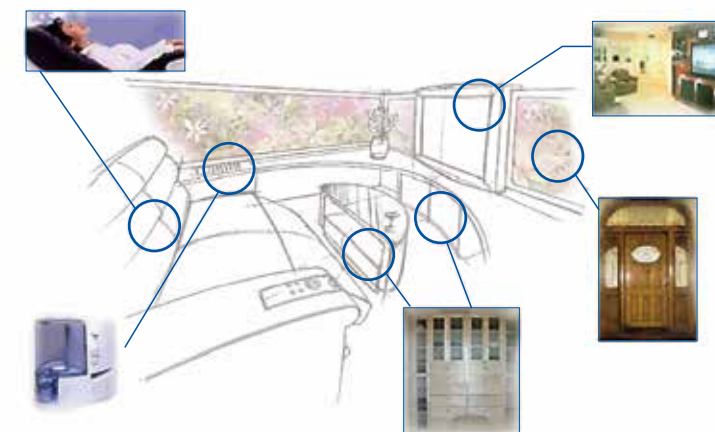
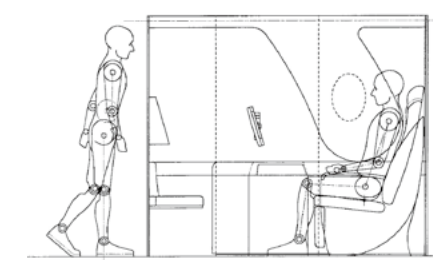
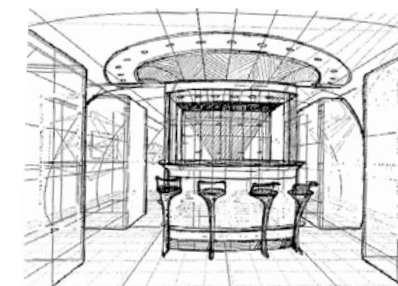
JAMCO はこれからも、グループのネットワークを最大限に活用し、トータル・インテリア・インテグレーションの分野においても、エアラインのニーズに応えてまいります。



お客様への提案、そして機体の改造から認証の取得まで、すべてを提供しています。



トータルに客室内をプロデュースします。



航空機内装品の全てを供給できる能力、及びプログラムマネジメント能力を世界各地の拠点のネットワークを通して提供する体制を整えており、エアライン各社のニーズに柔軟に対応してまいります。

航空・宇宙開発分野での研ぎ澄まされた
技術の結晶が、高性能を生む。



特殊工程技術関連製品

Aircraft Equipment

航空機には様々な金属や複合材が使用されています。
航空、宇宙開発の分野に求められる厳しい基準を満たす加工技術、安定供給のための生産設備、そして耐空性を保証する品質管理体制などが揃ってはじめて、航空・宇宙機器メーカーとしての信頼を得ることが出来ます。
JAMCO では、「品質の作り込み」をモットーに、2003 年には航空宇宙分野で要求される品質マネジメントシステム JISQ9100 の認証を取得しました。また、JAMCO グループでは、アルミニウム、ステンレス、チタニウムをはじめとし、航空機に用いられる特殊金属の溶接、熱処理、ろう付け、非破壊検査などの特殊工程技術を着実に積み上げています。ジャムコエアロマニュファクチャリングは、航空宇宙分野における特殊工程の世界的認証制度 Nadcap による認証を、Composites（複合材）、NM（レーザー加工）、NDT（超音波検査）の工程において取得しています。
徹底した品質へのこだわり、コア・コンピタンスである特殊工程技術、そしてモノづくりにおける独自の設計思想、これらを融合することで、熱交換器、民間航空機用エンジン部品、宇宙開発機器部品、電子機器搭載用シャーシ、高強度かつ軽量の複合材製品など、様々な航空・宇宙機器製品を供給し、お客様のニーズにお応えしております。



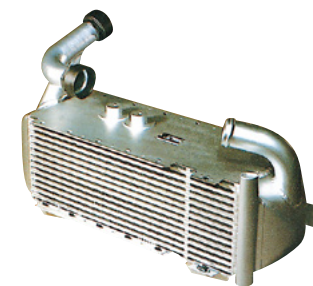
ヒートエクスチェンジャー（チューブタイプ）



ヒートエクスチェンジャー（フィンタイプ）



クーリングシャーシ

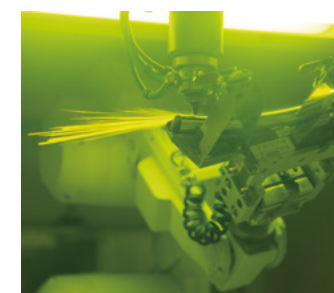


ヒートエクスチェンジャー（フィンタイプ）



航空・宇宙用 各種システム配管

特殊金属加工に熟練の技術が注がれています。



極めて複雑な構造が要求される熱交換器と高温高圧にさらされるエンジン部品の製造は、高度な特殊工程技術が必要とされており、特殊工程技術レベルの高い人材を揃えております。



民間航空機用エンジン部品工場



ヒートエクスチェンジャーの溶接金属の種類や溶接内容により、スポット溶接、シーム溶接、熔融溶接など、最適な溶接方法を選択します。

世界をリードする
複合材成形技術。



ADP

ADP (ADvanced Pultrusion)

ADP (ADvanced Pultrusion) とは当社が独自に開発した炭素繊維複合材の製法です。

炭素繊維複合材の成型は、手作業によってプリプレグ（炭素繊維に未硬化の樹脂を含浸させた材料）を何層にも重ね合わせ、オートクレーブと呼ばれる圧力釜で、熱と圧力を加えて硬化させる方法が一般的です。

ADP 製法は、この一連の工程を自動的に、しかも連続して行うもので、一定の断面形状を持つ炭素繊維複合材の製造に適しています。高い真直性を有する、理論上長さの制限のない部材を製造できることが大きな特長です。

また、自動化を進めたことにより、極めて安定した内部品質の炭素繊維複合材を低コストで製造することが可能になりました。

この ADP による炭素繊維複合材を使用した部材は、エアバス A350 を除くエアバス機の垂直尾翼や世界初の総二階建て超大型機 A380 の二階床構造部材として採用されています。

当社はこれからも、航空機に求められる「軽さ」と「強度」を満足する高品質の炭素繊維複合材を低コストで製造する技術を追求していきます。



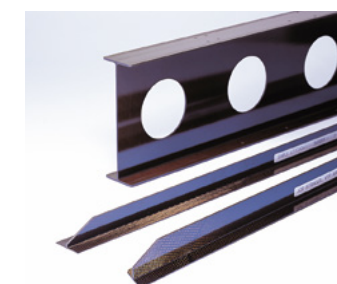
各種型材



大型オートクレーブ

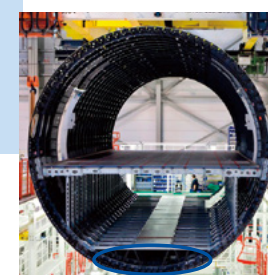


ADP 生産ライン



フロアクロスビームおよびストリンガー

高品質、高強度、自動化技術で高い評価を受けています。



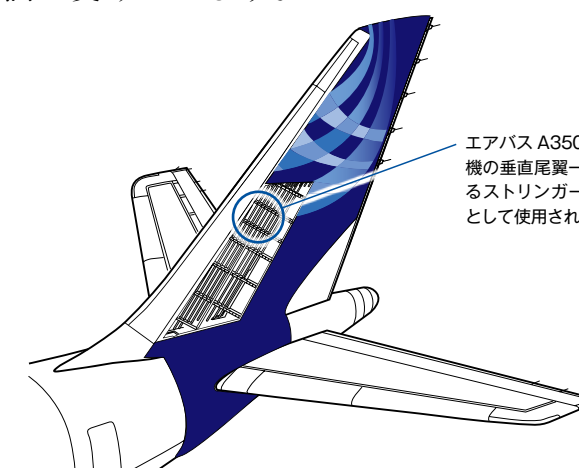
貨物室床下構造材

ADP だけではなく、ハンドレイアップ製法を用いて A350 型機向け貨物室床下構造材及び後部圧力隔壁取付け用一次構造部材を製造しています。
(写真提供：プレミアムエアロテック社)

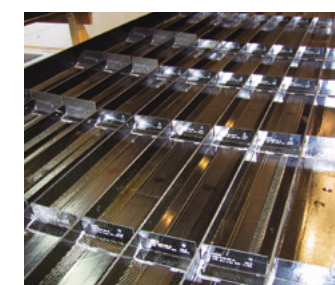


後部圧力隔壁取付け用
一次構造部材

炭素繊維構造部材は今後ますます航空機に使用される見込みであり、増産体制を整え、更なる ADP の研究開発に取り組んでいます。



エアバス A350 を除くエアバス機の垂直尾翼一次構造部材であるストリンガー、スティフナーとして使用されています。



エアバス機垂直尾翼一次構造部材

航空機整備のエキスパートとして絶大な信頼。
JAMCO ネットワークだから実現しました。



機体整備

Aircraft Maintenance

JAMCO は 1955 年、伊藤忠航空整備株式会社として創業して以来今日まで、航空機の整備・改造事業を脈々と手がけてきました。機体整備工場は、その歴史を今に引き継ぐ工場です。仙台を拠点に、支所を伊丹に置き、お客様のご要望にお応えすべく体制を整えています。

取り扱い機種は幅広く、ボンバルディア社に代表されるリージョナル機やビジネス・ジェット機、テキストロン・アビエーション社に代表されるターボ・プロップ機、シコルスキー社に代表される各種ヘリコプターなど、固定翼機、回転翼機を問わず航空機の整備・改造専門会社として、国内の中・小型航空機の飛行安全、定時運航に大きく貢献しています。

国内のエアラインにおいては、地方空港の整備に伴う路線の増加等により、燃料効率の良いリージョナル機クラスの小型旅客機の需要が近年増えています。今までに蓄積された航空機の整備・改造の技術を活かし、リージョナル機クラスの小型旅客機分野でも、定期整備や改造などの需要に応えられる体制を整えています。また、防衛省をはじめ、海上保安庁、航空大学校、警察など、官公庁の特殊な用途の航空機は、その任務を果たすために様々な装備を搭載する必要があり、機体メーカーとの技術提携や独自の技術力を駆使して、重整備はもちろんのこと機体の改造・改修などを数多く手がけた実績があります。JAMCO は航空機整備の分野においても航空の発展に貢献し続けます。



中型・小型航空機の重整備及び改造

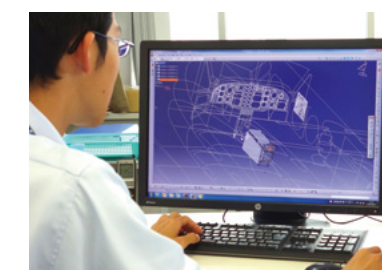
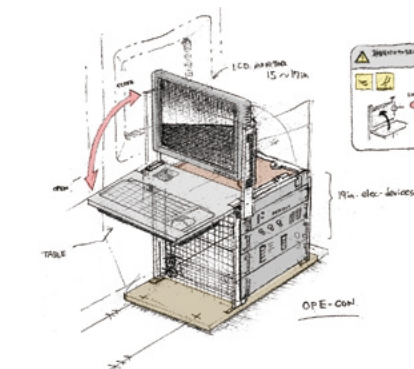
中型・小型航空機及びヘリコプターの重整備・改造が得意分野です。技術的付加価値の高い改造を行います。



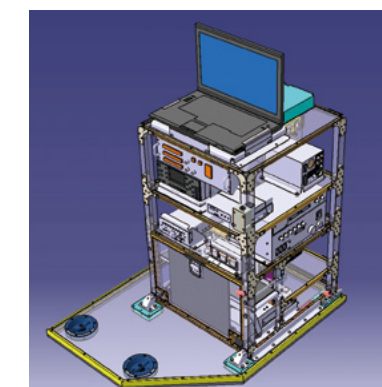
中型・小型航空機の運航整備

リージョナル機のトータル・ロジスティック・サポートを目指します。ボンバルディア社の CRJ 機の C 整備等豊富な実績があります。

中・小型航空機のメンテナンスセンターとして、幅広い航空機に対応した整備・改造を手掛けています。



オーダーメイド方式の機体改造を始めとするソリューション事業では、創業以来の技術力を基にお客様のニーズに対して様々なサービスを提供しております。



明日の安全なフライトのために。
世界にはばたく翼を支えるJAMCOのテクノロジー。



部品整備

Accessories Maintenance

航空機内装品等をひとつの翼とすれば、大型航空機の整備はもう一方の翼として安全で快適な空の旅を支えています。
部品整備工場は、国内有数の MRO として主にふたつの拠点（成田、東松山）を有しています。
部品整備工場（成田）は、航空機の安全運航を足元から支えるホイールの修理、オーバーホールを展開し、年間 18,000 本を超えるホイールを整備することが可能な、国内最大級の規模を誇ります。また、JAMCO が製造したギャレーインサートなどのアフターサービスを実施するとともに、JAMCO 製品のみならず、エバキュエーションスライド等の大型機の装備品と、回転翼機に搭載される救難用レスキューホイストやサーボ・シリンダおよび中小型機の装備品を整備しております。さらに、長年培った技術と経験を活かし、民間航空機を使用した大気観測装置の研究開発・改修等も行っています。
部品整備工場（東松山）は、乗員、乗客が使用する酸素ボトルや、エバキュエーションスライドを瞬時に膨らますための混合ガスボトルを中心に航空機搭載用高圧ガス事業を手掛けています。高圧ガスボトルは非常用装備品であるため、高度な技術が要求されますが、法令等が定める厳しい基準や米国運輸省などの厳しい審査もクリアしており、高品質な製品をお客様へ提供しています。お客様のニーズに応えるべく、装備品製造会社、航空機製造会社等と認定修理工場契約を締結して高品質なサービスを提供し続けております。

部品整備工場（成田）



部品整備工場（成田）



ホイール自動洗浄機



ホイールの整備



ホイール ファイナル工程



当社製品のアフターサービス
マイクロウェーブオープン



大気観測装置



エバキュエーション・スライドの整備



サーボ・シリンダー&アクチュエーター
油圧による回転翼機ブレードの制御



レスキュー・ホイスト
救難作業に大活躍

部品整備工場（東松山）



部品整備工場（東松山）



高圧ボトルの整備



高圧ボトル レギュレーター試験

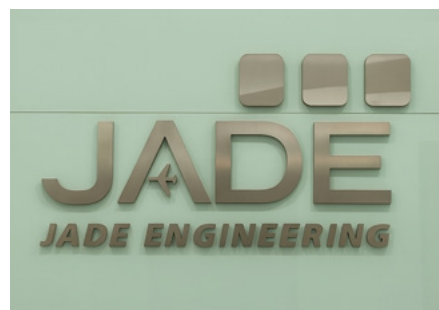
JAMCO's Network

JAMCO の翼をさらに広げる国内・海外の拠点

JAMCO の子会社・関連会社は、東京をはじめ、新潟、宮城、千葉、徳島、宮崎、沖縄と国内 7 箇所。ギャラリー、ラバトリーなど航空機の内装品製造や整備などの最前線としてフル稼働しています。また、日々刻々と変わる世界の航空機産業の需要にリアルタイムで対応できる海外拠点をアメリカ、フィリピン、シンガポール、フランスに設置して世界を網羅。それぞれのネットワークを駆使し、最新情報や顧客ニーズを収集することで、常に業界のリーディングカンパニーとして邁進しています。



JAMCO AMERICA, INC. (アメリカ ワシントン州)



JADE ENGINEERING PTE LTD. (シンガポール)



JAMCO PHILIPPINES, INC. (フィリピン)



株式会社ジャムコエアクラフトインテリアズ
新潟工場



株式会社ジャムコエアクラフトインテリアズ
中条工場



株式会社ジャムコエアロマニュファクチャリング



株式会社ジャムコエアクラフトインテリアズ
宮崎工場



株式会社ジャムコ 資材物流施設 (新潟県胎内市)



MRO Japan 株式会社



JAMCO's Profile

選ばれる企業をめざして

JAMCO は 1955 年、伊藤忠航空整備株式会社として東京三鷹に創立以来、航空機整備を事業の柱に、宮崎、羽田、成田、仙台、帯広と、国内の航空機産業の発展に並走してその活動の拠点を広げてきました。その後、航空機内装品等の製造事業を手掛け、ボーイング社をはじめとする機体メーカー、そしてユーザーである世界中のエアラインにと、ここでも JAMCO の技術力、品質、納期、カスタマーサポートなど、トータルなパフォーマンスが認められ、海外へもその翼を広げてきました。航空機という高い技術が求められる舞台で活躍する技術者、有資格者は 1,000 名を超え、世界中のお客様からのニーズにお応えできる体制を整えています。選ばれる企業へ。JAMCO はこれからも進化を続けます。



昭和40年に運輸省、昭和41年に米国連邦航空局で型式証明取得した伊藤忠式飛行機N-62 Eaglet

■会社概要

会社名	株式会社ジャムコ
所在地	東京都立川市高松町1丁目100番地
会社設立	1955年9月 1日 伊藤忠航空整備株式会社設立 1970年6月16日 新日本航空整備株式会社に商号変更 1988年6月29日 株式会社ジャムコに商号変更

資本金	100,000,000円（2025年9月19日現在）
従業員	2,723名（単体：1,210名）

主要取引銀行	みずほ銀行 三菱UFJ銀行 三井住友銀行
--------	----------------------------

主要取引先 （順不同）	防衛省 海上保安庁 都道府県警察航空隊 都道府県消防防災航空隊 独立行政法人航空大学校 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 独立行政法人電子航法研究所 ボーイング社 エアバス社 海外エアライン各社 ANAグループ各社 JALグループ各社 三菱重工業株式会社 川崎重工業株式会社 株式会社SUBARU 株式会社島津製作所 株式会社IHI 住友重機械工業株式会社 株式会社東芝 日本電気株式会社
----------------	---

伊藤忠商事株式会社 伊藤忠アビエーション株式会社 日本エアロスペース株式会社 三菱商事株式会社 丸紅エアロスペース株式会社 三井物産エアロスペース株式会社 双日株式会社 航空機使用事業、新聞社、他各社

■技術提携

航空機製造メーカーとの技術提携

- テキストロン・アビエーション社
- シコルスキー・エアクラフト社

航空搭載機器メーカーとの技術提携

- ウッドワード社
- コリンズ・エアロスペース社
- ハネウェル・インターナショナル社
- ブリーズ・イースタン社
- サフラン社
- エルタ社

■国土交通省航空局認定事業場

装備品の製造及び完成後の検査の能力 — 航空機内装品事業

航空機の整備及び整備後の検査の能力	航空機整備・製造事業
航空機の整備又は改造の能力	
装備品等の製造及び完成後の検査の能力	
装備品等の修理又は改造の能力	

■外国航空局 認定組織

<EASA（欧州航空安全庁）>
設計、製造の能力 — 航空機内装品事業

装備品の修理及び改造の能力 — 航空機整備・製造事業
<CAAS（シンガポール民間航空庁）>
製造、修理の能力 — 航空機内装品事業

■認証取得

JIS Q 9100 / JIS Q 9001
JIS Q 14001
JIS Q 27001
注）認証範囲については、当社ウェブサイト参照

Nadcap

複合材、レーザー加工、超音波検査
：ジャムコ エアロマニュファクチャリング



2015年 ボーイング サプライヤー
オブ ザ イヤー 受賞

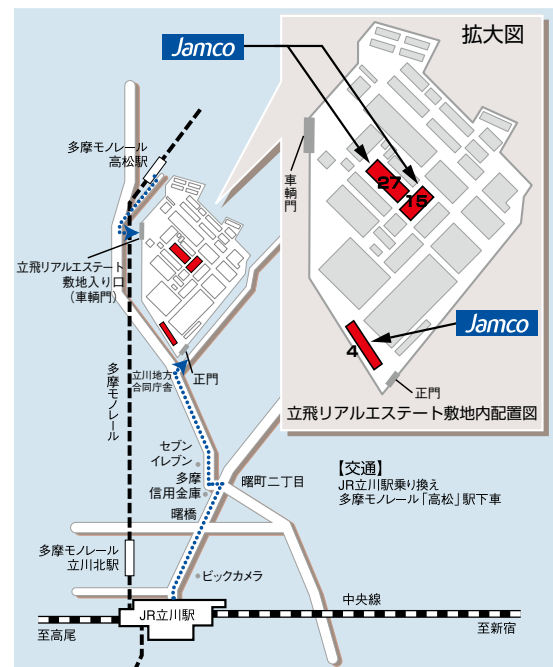


エアバス サプライヤー サポート
レイティング 2016 アワード 受賞

JAMCO Group

ここから最適なサービスが始まる。JAMCOグループの所在地一覧

代表	〒190-0011 東京都立川市高松町1丁目100番地 Tel.042-503-9900 Fax.042-503-9151
立川内装品キャンパス	〒190-0011 東京都立川市高松町1丁目100番地 Tel.042-528-6166 Fax.042-528-6161
営業部	〒190-0011 東京都立川市高松町1丁目100番地 Tel.042-528-6111 Fax.042-528-6186
ツールーズ支所	41 BIS Avenue Jean Monnet, 31770 Colomiers, France
航空機整備・製造備事業部	
営業部	〒160-0004 東京都新宿区四谷4丁目1番地 細井ビル4階 Tel.03-5369-6620 Fax.03-5369-6616
機体整備工場	〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字新拓70(仙台空港内) Tel.0223-22-2126～7 Fax.0223-22-6009
部品整備工場(成田)	〒286-0825 千葉県成田市新泉26(野毛平工業団地内) Tel.0476-36-1617 Fax.0476-36-1629
部品整備工場(東松山)	〒355-0071 埼玉県東松山市新郷75-1 Tel.0493-23-5862 Fax.0493-23-5863
機器製造工場	〒181-8571 東京都三鷹市大沢6丁目11番25号 Tel.0422-32-1192 Fax.0422-33-5429
子会社・関連会社	
株式会社ジャムコエアクラフトインテリアズ 設立:1989年4月	〒958-0822 新潟県村上市坪根字上坪根341番地1(新潟工場) Tel.0254-52-1188 Fax.0254-50-1000 〒959-2600 新潟県胎内市清水9番地113(中条工場) 〒889-1701 宮崎県宮崎市田野町甲8136番地7(宮崎工場)
株式会社ジャムコエアロマニュファクチャリング 設立:2013年1月	〒981-1251 宮城県名取市愛島台7丁目101番36(愛島西部工業団地内) Tel.022-784-1570 Fax.022-784-1575
株式会社徳島ジャムコ 設立:1992年1月	〒156-0043 東京都世田谷区松原3丁目40番7号 バインフィールドビル5階(本社) Tel.03-3325-4411 Fax.03-5376-1020 〒771-0219 徳島県板野郡松茂町笹木野字山東5番地2(徳島事業所) Tel.088-699-7501 Fax.088-699-8484
株式会社ジャムコ エアロテック 設立:1997年4月	〒286-0825 千葉県成田市新泉26(野毛平工業団地内) Tel.0476-40-9540 Fax.0476-36-5152
株式会社オレンジ ジャムコ 設立:1999年9月	〒190-0011 東京都立川市高松町1丁目100番地 Tel.042-528-1901 Fax.042-528-1990
JAMCO AMERICA, INC. 設立:1982年2月	1018 80th Street SW. Everett, WA 98203, U.S.A. Tel.1-425-347-4735 Fax.1-425-355-0237
JAMCO PHILIPPINES, INC. 設立:2011年6月	Building 01-A, Berthaphil V Industrial Park, Gil Puyat Avenue, Clark Freeport Zone,2023 Pampanga Tel.63-45-499-1515 Fax.63-45-499-1666
JADE ENGINEERING PTE LTD. 設立:2004年7月	Viva Business Park Block 750, #04-05, Chai Chee Road, Singapore 469000 Tel.65-6542-5212 Fax.65-6542-5213
MRO Japan株式会社 設立:2015年6月	〒901-0196 沖縄県那覇市字大嶺260番地 Tel.098-851-7660



株式会社 ジャムコ

代表

立川内装品キャンパス

〒190-0011 東京都立川市高松町1丁目100番地

営業部

TEL. 042-528-6111

FAX. 042-528-6186

立川内装品キャンパス

TEL. 042-528-6166

FAX. 042-528-6161

総務法務部

TEL. 042-503-9900(代表)

TEL. 080-4389-2710(広報)

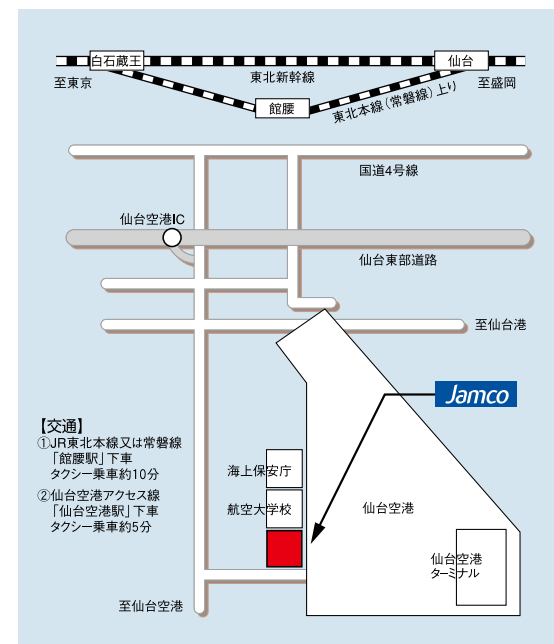
FAX. 042-503-9151



株式会社 ジャムコ

航空機整備・製造事業部 機器製造工場

〒181-8571 東京都三鷹市大沢6丁目11番25号



株式会社 ジャムコ

航空機整備・製造事業部 機体整備工場

〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字新拓70(仙台空港内)



株式会社 ジャムコ

航空機整備・製造事業部 部品整備工場(成田)

〒286-0825 千葉県成田市新泉26(野毛平工業団地内)

JAMCO's History

翼の歴史は JAMCO の歴史。共に歩んできたチャレンジの歴史。

会社の沿革

1955 (昭和30)年 9月 伊藤忠航空整備株式会社設立。
1963 (昭和38)年 11月 運輸省航空局認定による装備品の修理改造認定工場取得。
1965 (昭和40)年 9月 伊藤忠式N-62型飛行機、運輸省の型式証明取得。(翌年9月、米国連邦航空局の型式証明取得)
1969 (昭和44)年 10月 運輸省航空局認定による航空機の修理改造認定工場取得。
1970 (昭和45)年 3月 伊藤忠商事株式会社が、保有株式を日本航空株式会社、全日本空輸株式会社に譲渡し、3社の資本参加となる。
1970 (昭和45)年 6月 新日本航空整備株式会社に商号変更。
1970 (昭和45)年 8月 全日本空輸株式会社からボーイング727-200用8機分、737用3機分のギャレーおよびインサートを受注。
これより大型機用各種内装品の開発・製造がはじまる。
1971 (昭和46)年 1月 防衛庁海上自衛隊ビーチクラフト式B-65型機の修理指定工場となる。
1979 (昭和54)年 11月 ボーイング社から767用ラバトリーモジュールを受注。
1982 (昭和57)年 2月 米国ワシントン州に米国法人ジャムコ アメリカを設立。
1986 (昭和61)年 6月 F-15J用熱交換器用のコアを生産し島津製作所へ納入開始。
1986 (昭和61)年 10月 ボーイング社から747-400用ラバトリーモジュールを受注。
1986 (昭和61)年 12月 防衛庁陸上自衛隊アエロスバシアル式ヘリコプター AS-332L型機の修理認定工場となる。
1988 (昭和63)年 6月 株式会社ジャムコに商号変更。
1988 (昭和63)年 8月 ギャレー、ギャレーインサートの英国航空局製造認定工場となる。
1988 (昭和63)年 11月 株式を東京地区店頭市場へ公開。
1989 (平成 元)年 3月 ギャレーインサートの米国連邦航空局修理認定工場となる。
1989 (平成 元)年 4月 株式会社新潟ジャムコを設立。
1990 (平成 2)年 3月 株式会社宮崎ジャムコを設立。
1992 (平成 4)年 1月 株式会社徳島ジャムコを設立。
1996 (平成 8)年 7月 エアバス社からCFRP製の垂直尾翼用一次構造部材を受注。
1997 (平成 9)年 4月 株式会社ジェイテックを設立。(現、株式会社ジャムコ エアロテック)
1998 (平成10)年 7月 航空局認定事業場として認定される。(第004号 航空機整備検査)
1998 (平成10)年 11月 ボーイング社から3回目のボーイング社長賞を受賞。
1998 (平成10)年 12月 東証第二部に上場、併せて公募増資により資本金53億6000万円となる。
1999 (平成11)年 9月 内装品工場が航空局による認定事業場を取得。(装備品製造検査認定)
1999 (平成11)年 9月 株式会社オレンジ ジャムコを設立。
2002 (平成14)年 1月 ジャムコ アメリカがFAA(米国連邦航空局)よりODAR(Organizational Designated Airworthiness Representative)認定を取得。
2002 (平成14)年 4月 エアバス社からA380用CFRP製アッパーデッキフロアビームを受注。
2002 (平成14)年 7月 航空機器製造カンパニーのADP技術が国内で初めてSAMPE(先端材料技術協会)の表彰を受ける。
2003 (平成15)年 3月 ボーイング・サプライヤー・オブ・ザ・イヤー 2002 を受賞。
2004 (平成16)年 7月 シンガポールに、JAMCO Aero Design & Engineering Private Limitedを設立。
2005 (平成17)年 3月 ボーイング社から787用ラバトリーモジュールを受注。
2005 (平成17)年 3月 国立環境研究所向けに航空機搭載用大気観測装置を納入。
2005 (平成17)年 5月 ボーイング社から787用コックピット内隔壁・内装品・ドアを受注。
2005 (平成17)年 11月 ボーイング社から787用ギャレーを一括供給契約で受注。
2008 (平成20)年 6月 新潟に新ハニカムコア工場完成。
2008 (平成20)年 7月 ジャムコ アメリカがFAA(米国連邦航空局)よりODA(Organization Designation Authorization)認定を取得。
2011 (平成23)年 5月 ジャムコ アメリカがボーイング・パフォーマンス・エクセレンス・アワード銀賞を受賞。
2011 (平成23)年 6月 ジャムコ フィリピンを設立。
2013 (平成25)年 1月 株式会社ジャムコエアロマニュファクチャリングを設立。
2014 (平成26)年 3月 ボーイング社から777用フロアーパネルを受注。
2014 (平成26)年 4月 航空機用シート事業への本格参入。
2014 (平成26)年 9月 ボーイング社から777X向けラバトリー新規受注及び777、787他向け内装品の契約更新に合意。
2015 (平成27)年 3月 東証第一部に上場。
2015 (平成27)年 6月 株式会社中条ジャムコを設立。
2016 (平成28)年 4月 エアバス・サプライヤー・サポート・レイティング 2015 アワードを受賞。
2016 (平成28)年 4月 ボーイング・サプライヤー・オブ・ザ・イヤー 2015を受賞。
2017 (平成29)年 4月 部品整備工場(東松山)を開設、ボトル整備事業立ち上げ。
2017 (平成29)年 4月 エアバス・サプライヤー・サポート・レイティング 2016 アワードを受賞。
2018 (平成30)年 9月 MRO Japan株式会社への第三者割当増資引き受け。
2019 (令和 元)年 4月 ボーイング777X 型機向けギャレー初出荷。
2019 (令和 元)年 4月 伊丹支所開所、夜間定例整備業務を開始。
2020 (令和 2)年 6月 グローバルニッチトップ企業100選に選定。
2022 (令和 4)年 4月 東証プライム市場へ移行。
2022 (令和 4)年 4月 プレミアムクラスシート「Quest」がiF DESIGN AWARD 2022 を受賞。
2024 (令和 6)年 4月 株式会社新潟ジャムコ、宮崎ジャムコ、中条ジャムコを合併し、株式会社ジャムコエアクラフトインテリアズを設立。
2025 (令和 7)年 7月 ベインキャピタル出資等に伴い上場廃止。



株式会社ジャムコ

代表／〒190-0011 東京都立川市高松町1丁目100番地

総務法務部／TEL.042-503-9900 FAX.042-503-9151

広報／TEL.080-4389-2710 FAX.042-503-9151

URL. <https://www.jamco.co.jp/>

